

恐怖の補習 サバイバル日本史 ③

【前回までのあらすじ】

健やかなる時も病める時も、補習攻勢の手を止めることのないカジ高校。「歯医者に行く」だけを欠席理由に補習を避け続けてきたカジもいよいよ限界を迎え、ゴールデンタイムであるはずの土曜日午後の補習に参加することに。クラス担任デモニツシユ林の「サバイバル日本史」と呼ばれる不正解者離脱型の特殊な補習が始まるや否や問題を当てられるカジ。いきなりにして絶体絶命のピンチ。さあどう乗り切る？

「カジ、お前答えろ！」

サバイバル日本史開始直後の問題の回答権がカジに回ってきた。クイズ番組であれば、得点ゲットのチャンスだが、こはサバイバル日本史、純然たるピンチだ。出題された問題は「明治10年に西郷隆盛が起こした反乱は？」だ。うーん、よくわからん。普段、全く勉強していないカジにとってはどんな問題も難問だ。ひとまず立ち上がり、首を傾げ、天井を見、考えてる風に見える。さあどうしたもんかと悩んでいると、ボソボソと何やら聞こえてくる。

「せいなんせんそう…せいなんせんそう…」

なんと、周辺にいたカジ友たちが助け舟を出してくれているのである。実に友情的で感動的な場面だ。カジ友たちの勇敢なアレで正解は「西南戦争」だと理解。だが、敢えて正解を発することはしない。

なぜなら、

正解を答えられなければ、退室＝帰宅できるからだ！

引き続き「西南戦争ウィスパー」をやめないカジ友たち。みんなありがとう。でももういいんだよ。もったいぶって「分かりません顔」を演じ続けるカジ。20秒程経ったところで、ようやく言葉を発する。

「わかりません！」

ビックリ顔のカジ友たち。決まった。序盤で帰れるなんてラッキーだな。サバイバル日本史など敵ではないわ！と喜んでいると、デモニツシユがさかさ返す。

「座れ！」

座れ？帰れじゃないの？と思いつながら、まあ言い間違いだらうってことで、教科書たちを整理して帰ろうとすると、

「カジ、帰れとは言っていない。ステイだ！」

サバイバル日本史に新ルール「ステイ」が追加され戸惑うカジ。この後、どうやってしまうのか。ステイチューン。

華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

カールリブラー 講座

カジのひねもすハイスクール純情派

文/カジ

『ピロティ』の謎

本文とは全くもって関係ないが、カジ高には『ピロティ』と呼ばれる場所があったのな。当時は何気なくピロティピロティ言っていたが、大人になって考えてみると、このピロティがとても不思議な言葉に思えてきた。日常生活ではほぼ使わないピロティというワード。そして、どこかしら間抜けな響き。ピロが間抜けに感じさせるのか、それともティか。ピロリ菌はどこか面白要素があることから、多分ピロがそれだ！文字埋め終了。